

題名 平和を未来へ

鹿沼市立南押原中学校 (氏名) 武田 桜太朗



僕は、今回の広島での平和記念式典で80年前のあの日、広島で何があったのかを学びました。平和記念資料館では、原爆の悲惨さを目にしました。原爆が投下されるまで広島で暮らしていた人々の様子、一人一人の姿が写真として残されており、原爆が投下されるその瞬間までその人々は普通に暮らしていたという事実をあらためて実感しました。また、原爆投下直後の町や人々の写真を目にして、あまりのむごさに言葉を失いました。たった一つの爆弾で、そこにあったはずの平和は壊されてしまったのだと、そう思いました。戦後80年、今も世界各地で紛争や争いが多く起こっています。しかし、それでも核兵器が使用されていないのは、被爆者の努力の結果であると感じます。僕が大人になるころには、被爆者はいなくなってしまうと思います。これからは、広島で戦争のことを学んだ僕たちが伝える番だと思っています。被爆の悲惨さ、悲しさを次の世代に伝えていきたいです。